

女性スポーツ促進に向けた日本スポーツ協会の取組 (女性スポーツ委員会アクションプラン)



日本スポーツ協会
(JSPO)

(コーポレートメッセージ)
スポーツと、望む未来へ。

スポーツがあらゆる人々に一切の差別、格差なく享受されるよう取り組むことで、誰もが望む社会の実現を目指す

女性とスポーツに関する現状と課題(一例)

現状

女性特有の疾病予防を含む心身の健康増進や生きがいづくりにつながる運動・スポーツの実践が奨励されている一方で、女性のスポーツ実施率、スポーツ観戦率、スポーツボランティア実施率は、全世代平均すると男性と比較して低い
(平成29年度スポーツの実施状況等に関する世論調査より)

課題

- 月経周期異常を抱える女性競技者
(Health Management for Female Athlete Vol.3-女性アスリートのための月経対策ハンドブックより)
- 運動不足の女子小中学生
(平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査より)
- スポーツを嫌いと感じる女子中学生
(平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査より)
- 「面倒くさい」を理由にスポーツしない女性
(平成29年度スポーツ政策調査研究事業[スポーツを通じた女性の活躍のための現状把握調査]より)

従来

事業毎に女性のスポーツ環境の改善に取り組む

国民体育大会

スポーツ少年団

スポーツ指導者養成

日本スポーツマスターズ

総合型地域スポーツクラブ

スポーツ医・科学研究

今後

既存の取組の充実・改善だけではなく、「女性」をキーワードとして、既にスポーツに参加している女性が「**もっと楽しみたい**」と思う取組や、現在スポーツに参加していない女性が「**スポーツってイイな**」と思う取組が必要

女性スポーツに関する取組を総合的に検討・実施する

女性スポーツ委員会

(目的)

もっと、女性が、スポーツを楽しむ社会へ

女性のスポーツに関する活動環境の改善を通じて、女性のスポーツ参加(参画)を促し、より公平なスポーツ文化を確立する

JSPOの事業横断的な活動方針として

女性スポーツ委員会アクションプランを策定(2019.3.18)

アクションプラン2019-2022 取組の視点

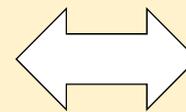
1 女性にとって安心・安全・気軽な
スポーツ環境づくり

3 女性役員の育成・登用

2 女性指導者の育成

4 女性の参加機会の拡充

スポーツ庁などが示す
各種方策との連携



スポーツ庁

第2期スポーツ基本計画

女性スポーツ促進方策

スポーツ実施率向上のための
行動計画